



学生近況報告

6年次の近況報告

「ヒントというものは案外身近にあるものですね。」

石川 携 (6年次)

たまたま開いた本やテレビ、ラジオ、はたまたま合コン真っ最中などにハッと気づかされ、まるで雨が止み太陽が眩しく見えるときのように迷いが晴れるということ、みなさま多く経験されていることではないでしょうか。

迷いや悩みと言うと、僕ら医学部6年生というのは一段と多く抱えこむ時期だと感じています。

- マッチングのこと(医学生の就活みたいなものです)
- 将来の専門分野のこと
- 留年の恐怖と国試勉強
- 最後の西医体のこと
- なぜ恋するフォーチュンクッキーでのサシコはあんなに可愛いのか
- 鼻と股間の大きさは相関するのか etc...

とはいえ、6年生共通の悩みといえばマッチングです。医師のスタートである病院をどう選ぶか。県内か県外か、大学病院か市中病院か、などです。または「内科分野」なのか「外科分野」なのか、はたまた「恋人よ一生一緒にいてくれ野」など様々なのです。

僕もとても悩んでいます。そしたらヒョンと立ち読みした宇宙兄弟にこんなことが書かれていました。

「迷った時はね、どっちが正しいかなんて考えちゃダメ。どっちが楽しいかで決めなさい」

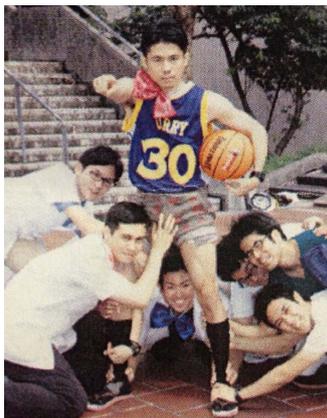
シャロンおばちゃんありがとう(涙)と、主人公ムツタ並に思いました。答えはいつでも急にやってくる、と改めて感じました。

グズグズしてなかなか決断ができそうに無い方は小便に行ってみてください。突然その言葉は現れますよ。

「あと一歩前へ」

p.s.

29期国試全員合格しましょう。



5年次の近況報告

「Student Doctor」

瀬戸口 倫香 (5年次)

臨床実習が始まってしばらく経ちます。Student Doctor 認定式も終え、医師を目指す上での「仮免許」

をもらった気分です。最初は不安と緊張が大きかった臨床実習。今は肩の力の抜き方を覚え、有る程度リラックスしてできるようになりました。実習ではたくさんの疑問が浮かびます。いろんな種類の治療薬があるけれどどれがいいのだろう、この手術をする時は何に気をつけてやるのだろう。今まで授業で習ったことも、習わなかったことも、より使える形で学ぶことができます。また、知的好奇心が先行し、前よりも自分から学んでいこうと思えるのでとても楽しいです。実習に伴って、学年内でグループを作ったの勉強会も開かれるようになりました。勉強のペースを作るため、人が学んだことを聞いて自身の知識を広げるため、理由は人それぞれですが、いい刺激になっていると思います。実習をやっている先輩によく「今やっている基礎・臨床の勉強をしっかりとっていた方がいいよ。」と言われましたが、今になってその言葉の意味を痛感します。そして、今は後輩に同じようなことを言っていて、私もそんな学年になったのだな、と感じます。もうすぐ半分の実習を終え、折り返し地点です。座学ばかりの時と比べ体力も使うし、知識不足を実感しやすいため自信がなくなりそうになることもあります。でも、「仮免許」ではなく「医師免許」をとれるよう、これからも同じ学年のみんなと、勉学に励んでいきたいと思っています。



「4年次近況報告」

坂口 裕美 (4年次)

こんにちは、4年次の活動報告をさせていただきます。坂口裕美です。新学期が始まって、しばらくテストがない日が続いており、あまり時間に追われることなく4月、5月を過ごしてきました。そんな2か月を送っているうちに、気づけばテストの山場が迫ってきています。テスト勉強の感覚を取り戻すのに、苦戦している人も多いようです。みんなで助け合って、仲良くテストをクリアしていきたいです。

4年次になって、TBLという科目が始まりまし